

令和6年6月18日

八頭町議会  
議長 尾島 勲 様

副議長 奥田 のぶよ  
(公印省略)

八頭町議会議員人権視察調査研修報告書

令和6年4月11日に調査研修を終了したので、八頭町議会会議規則第77条の規定により、別紙のとおりその結果を報告する。

## 八頭町議会議員人権視察調査研修報告書

期 日：令和6年4月11日(木)

場 所：水平社博物館(奈良県御所市柏原 235-2)

目 的：部落差別解消に向けた歴史を学ぶことにより町総合計画に謳われている人権尊重のまちづくりに向け知識を広めることを目的とする。

議 員：森 亜紀子、山根張太郎、中村 美鈴、前田 幸己、矢部 啓祐、灘口 茂郎  
岡嶋 正弘、柴田 秀之、川西 美恵子、緒方 晴紀、奥田のぶよ、尾島 勲

随員： 議会事務局 林 孝昌、都橋 千鶴

報 告

●日程1 水平社博物館 館内見学 ガイド付き(11時～12時)

2階展示室

- 1、人間の尊厳を求めて
- 2、全国水平社の胎動
- 3、全国水平社の創立と広がり
- 4、全国水平社創立の理念
- 5、水平社運動の展開
- 6、人間の尊厳を求めて

●日程2 館外フィールドワーク ガイド付き(13時30分～14時30分)

- 1、いのち燦燦の燈
- 2、記念碑
- 3、共同浴場跡
- 4、西光寺
- 5、駒井喜作宅跡
- 6、燕神社
- 7、坂本清俊宅跡
- 8、阪本清一郎家跡
- 9、阪本清一郎宅跡
- 10、水平社宣言記念碑
- 11、神武天皇社
- 12、請願時

まとめ

水平社博物館は、1997年に開館し、水平社創立100周年の2022年3月にリニューアルされた博物館である。今までの歴史に止まらず、SDGsの視点などを取り入れ、過去から未来に向けたアップデートが実施され、同和問題等人権に関する取り組み状況も確認することが出来た。若者世代にもなじみやすいよう人気漫画を参照しての説明があった。

伝えたいことを幅広く伝えるには各世代違ったアプローチでそれぞれの世代にあった手法が大事だと再認識した。人権学習というと何か堅苦しく感じてしまうが、身近なものだという認識とそこからのスタートが大切だと改めて考えさせられた。

館外フィールドワークでは、博物館で聞いた解説をベースに現地でガイドの説明を聞くことで、100年以上前の出来ごとが目の前に浮かぶようであり、当時の熱量や思いを頭だけでなく肌で感じる事が出来た。水平社創立の理念である「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という言葉は、皆の心に響くものであり、「人権のふるさと」の水平社で改めて「部落差別問題」を深く考える機会となった。解放令が出てから153年、水平社が創設されてから102年、現在でも部落差別が現存している現状を考えると、どうすれば部落差別をなくすことができるのかと、他人事と思わず差別解消に向け取り組んでいかねばならないと改めて感じた。人間の尊厳と平等、差別を許さない不屈の精神を継承し、その想いを未来につないでいくことの大切を痛感した視察であった。